

大分県院内町の石橋に関する町民の意識調査

西日本工業大学 学生員 ○丸岡 正徳
 西日本工業大学 学生員 山崎 学
 西日本工業大学 正会員 花倉 芳廣
 西日本工業大学 正会員 早川 信介

1. まえがき

大分県には石造アーチ橋が約495橋程存在するが、そのうち宇佐郡院内町には約60橋あり桁橋の約10橋を含めるとその総数は他県の市町村に比べて最も多い数^{1)、2)}となり、その多くは当時の石工たちの高度な技術力に支えられた貴重な遺産となっている。また院内町の石橋群の架設年度は、九州の他県および県内の他の地域よりも遅く^{1)、2)}江戸末期に始まり、その多くは明治時代以降のもので比較的新しい。このように数多く現存し、生活に密接に係わっている石橋に対して、地域住民が日頃どのような意識を持っているかを知るためにアンケート調査を実施した。

院内町では、数年前より石橋に対する様々な取り組みを行っており一昨年は教育委員会主催による「石橋シンポジウム」を行っている。そうしたなか、住民が石橋をどのように意識し認識をしているかを知ることが今後の同地区の石橋の在り方を考える上で有効な一つの判断材料になるものと考えている。

2. 調査方法

調査方法は院内町教育委員会の協力を得て、院内町の全世帯数(1875世帯)に3枚ずつ5625枚のアンケート用紙を配布した。院内町の人口は約5730名で、1世帯に3枚配布することにより複数人の回答を得ることができるようにした。

3. 調査結果

調査票数 5625票 有効回収票数 1805票 回収率 32.1%

図-2は住民に「町内に現存する石橋の数」を質問した結果を示す。この中で約70橋と答えた住民が1/3を占め、約50橋と回答した数を加えると全体の6割を超える。これは町内の石橋に対して意識度の高さを示していることが分かる。

図-3では「石橋を自慢できるものである」と考えている住民が8割を占めているが、これは石橋に対して日頃から素晴らしいものであると認識していて、軽視していないことを窺い知ることができる。そして「自慢できる理由」(図-4)としては、「石橋の古さである」と答えた人が3割以上を占めており、近代の橋にはない趣きを感じている住民が多いことが認められる。

また院内町は他地域に比べて最も石橋の現存数が多いこともあって、「数の多さ」を挙げる人も3割近くと「古さ」の次に多い。

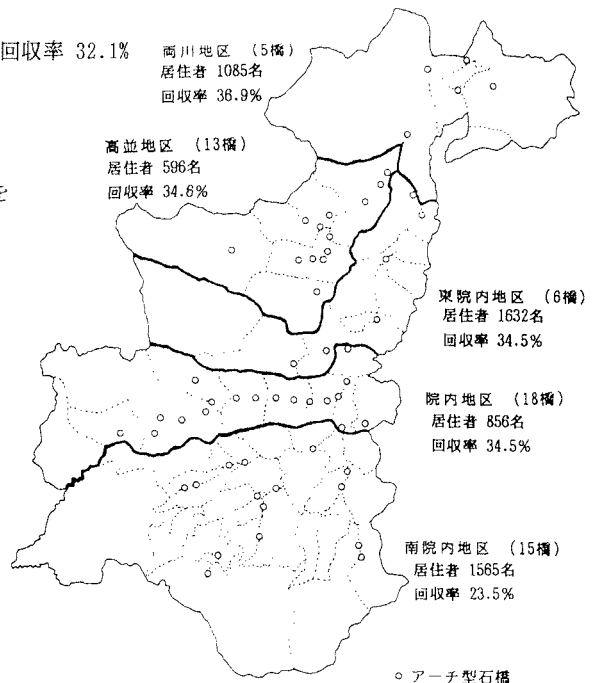


図-1 調査地区分布図

「石橋を自慢できない」と考えている住民も、直接石橋をその対象とする回答は少なく、川や石橋周辺の整備に力を入れる必要性を訴えているものが大半を占めている。(図-5参照)

次に石橋の将来的な展望に関する意見では、図-6において「石橋をそのままの形で保存したい」という意見が全体の8割を占めており、現存する石橋の重要性と必要性の高さを示している。これは「新しい橋に架け換える」という意見が5.2%と非常に少ないことから分かる。

またその他の意見としては、「今の石橋は残して別の所に新しい橋を架ける」や「長期保存するための何らかの措置を講じて欲しい」といった現存石橋に対して前向きな意見も多い。

町おこしの主体者に関する問では全体の約7割が官民一体による石橋の活用を考えており、人任せにはせずに、町全体で盛り上げようとする意気込みが感じられる。また「する必要はない」と考える人はわずか全体の3.6%であることから、ほとんどの人が石橋群を町おこしの材料の一つにすることを否定していないと考えられる。(図-7参照)

次に「石橋が自慢できるかどうか」を尋ねた結果を年代別に見た場合「で

きと思う」と答えた人が10代の76.6%から80代以上の91.2%まで年令を追う毎に増えている。この傾向は、石橋を町おこしの一環として活用する場合、誰が行うかの間で「官民一体」と答えた割合にも表れている。

4.まとめ

住民の石橋に対する意識度、認識度は高い値を示し、その将来性を考える上でも前向きな意見が多い。しかし年代別では、若年層において他の年令層より若干その程度が低い結果になっている。地区による石橋に対する意識の違いは特性を示すほどの結果は見られないが、院内、高並地区で川の整備を求める意見が他の3地区より多くなっている。

今回のアンケート調査の結果から、住民は石橋を遺産としての価値を認めるとともに生活環境の一部として考えており、その改善を望んでいることが認められる。したがってその改善は民意が十分反映され、どの地区においても同じ様な改善がなされるべきであろうと思われる。

〔参考文献〕

- 1) 山口祐造:九州の石橋をたずねて(中編)(後編)1976.4.
- 2) 榊 晃弘:眼鏡橋 (解説 戸井田 道三)1983.3.

どのくらいの石橋があると思いますか

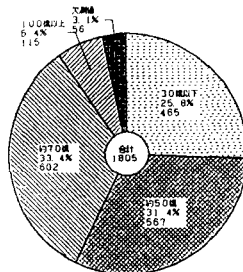


図-2 石橋に対する住民の意識度

石橋の何が自慢できますか

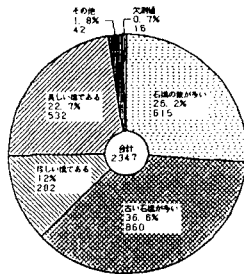


図-4 石橋の評価理由

近くにある石橋を将来どうすればいいか

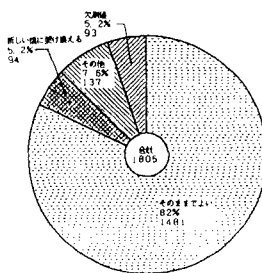


図-6 石橋の必要度

町内の石橋が自慢できる橋だと思いますか

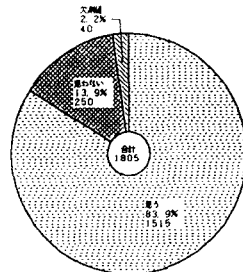


図-3 石橋に対する評価

どの点を改善すればいいか

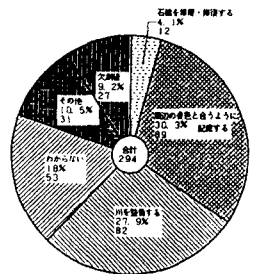


図-5 石橋に関する要望

石橋活用の主体者は

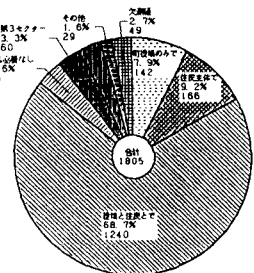


図-7 石橋活用における意識度